

第1回ワークショップの概要

●ワークショップの流れ



●第1回ワークショップで整理した内容の概要

樹種	配置	構造
<p>●樹木の形状</p> <p>円錐型 卵円型 球型 盃型</p>	<p>●街路樹の配置間隔（模型による検討）</p> <p>6mピッチ</p>	<p>●支柱のデザインの例と分類</p> <p>景観性・道路空間利活用 高</p> <p>耐風性能低 ← 二脚鳥居型 → 耐風性能高</p> <p>地中支持方式</p> <p>金属製</p> <p>三脚鳥居型</p> <p>十字鳥居型</p> <p>八ツ掛型</p> <p>景観性・道路空間利活用 低</p>
<p>●街路樹整備の他事例</p> <p>御堂筋（大阪市）</p> <p>中之島通（大阪市）</p> <p>かみなぎ多通り（神戸市）</p> <p>丸の内仲通り（東京都）</p>	<p>7mピッチ</p> <p>8mピッチ</p>	<p>二脚鳥居型</p> <p>三脚鳥居型</p> <p>十字鳥居型</p> <p>八ツ掛型</p> <p>金属型</p> <p>地中支持方式</p>

第1回ワークショップにおける各グループの意見交換の概要

●第1回ワークショップの各グループのご意見について

グループ A

印象的で
目立つみち！



	道自体に人が通りたくなる工夫	道の名前を付ける！ 「●●ロード」	イルミネーション
樹種	季節感で話題づくり	紅葉する	花が咲く
	居心地の良い環境をつくる	夏に木陰ができる	良い香り
配置	8 m程度で良い○！		
構造	地中支持式がきれい	空間を広く使えと良い	支柱の上にゴミを置かれる。
	ツリーカールはゴミが挟まる？	人工芝は管理が大変	ウッドチップは風に舞う

グループ B

人が呼べる！
視察が来る！
高揚する・映える



散歩したい居心地の良い	太陽と木でリラックス	SNS映えあこがれ	沿道店舗は清掃に協力するはず！
イチョウ希望！	季節を感じる樹木	店舗が目立つ樹木	
円錐型	子連れ家族が滞在できる芝生空間	樹高は7~8mが良い	御堂筋に負けないイルミネーション
配置	全体のバランスが大事 → 8 mで良い	特定の箇所だけ増やすと不自然？	車庫前は避ける
構造	目立たない支柱が良い	雨の日もすべらない	歩きやすい

グループ C

季節を感じる
静かで暮らしやすい街



春を感じる花が咲く	落ち葉など対策は必要	実がない	1本1本が派手な樹木
卵円型	高齢者が歩きたくなるみち	横に広がって木陰ができる	
卵円型	ボリュームのある卵円型	きれいな清潔	クスノキ△ ケヤキ△ イチョウ△
配置	8 mは寂しい街区毎に3本ほしい！	つくば式(2本ずつ)もあり？	交通量が多いので注意
構造	地中支持が良い	地中支持は強風などの安全対策が必要	カラフルな二脚鳥居支柱